

CONTENTS

地域発NEWS	1~4
国有林野所在市町村の魅力紹介	5~6
特集コーナー	7
使える！ 行政情報&	8
研究・技術の参考情報	
地域のこの人	9
東北森林管理局の管内で	10
予定されているイベント情報	

みどりの
Midori no Tohoku
東北
No.229
令和5年 2023.4
林野庁 東北森林管理局
Tohoku National Forest Regional Office



しとまえがわ
雫石町志戸前川流域直轄地すべり防止事業地に施工された治山
ダムは、下流域への被害を未然に防止するとともに、施工区域の
直下を通過するJR田沢湖線の安全走行にも寄与しています。

森林ってすげ〜!

米代東部森林管理署

当署では、森林のもつ機能や役割を広く知ってもらうことを目的として、毎年秋頃に大湯小学校の5年生を対象に森林教室を開催しています。

令和4年度は9月に中滝ふるさと学舎で開催し、子供たちに森林についての説明と林業作業の一つである測樹を体験してもらいました。

まず、森林の機能・役割の説明では、「針葉樹・広葉樹ってなに?」から「森林のはたらき(炭素固定など)」についてわかりやすく説明しました。

次に測樹体験では、「木の高さ」「木の太さ」を専用の機器で測定し、測った木の体積を計算してもらいました。はじめはみんな経験がなかったため戸惑っていたものの、機器の扱いに慣れてくると「先生、次はどの木!？」と積極的に参加してくれました。

子供たちから「森林ってすげ〜」といった声も出るなど大盛況の中で森林教室を終えました。

森林の役割等について楽しく学び体験できたことは、子供たちのかけがえのない経験になったと思います。

また森林環境保護の大切さを理解してもらえることは、職員の業務への士気にも繋がります。



森林教室後の記念写真

未来ある子供たちに、少しでも森林について興味・関心を持ってもらえるよう、今後も継続していきます。

地域の生活を守り・親しまれる保安林

山形森林管理署最上支署

山形県の北部に位置する最上地域は、森林面積が約80%を占めており、その森林は最上川の源流となる貴重な水源となっています。

森林は、水源のかん養(水資源を蓄え・育み・守る働き)や山地災害の防止など多くの機能を発揮し、私たちが安全で快適に暮らせる生活を守っています。特に重要な役割を果たしている森林は、農林水産大臣又は都道府県知事によって保安林に指定され、伐採方法等の制限や間伐が行われるなど、適切に管理されています。

山形県最上郡鮭川村の西部にはブナの天然林に囲まれた「与蔵沼よぞうぬま」と呼ばれる沼があります。周辺には、「まぼろしの滝群」と呼ばれる、落差が約130mある「湯沢の滝」をはじめ、「白猿の滝」「大滝」「夫婦滝」の4つの滝があります。

この「与蔵沼」「まぼろしの滝群」一帯の森林は、水源かん養保安林に指定され、洪水や渇水の緩和の働きを果たしています。また保健保安林でもあるため森林レクリエーション活動の場として訪れる人々に安らぎを提供しています。



与蔵沼周辺でトレッキングを楽しむ方々

これから新緑の季節になります。新しく芽吹いた木々の花や葉を、きれいな水と空気とともに親しむのはいかがでしょうか。

山火事防止対策を推進

三陸北部森林管理署

例年、山では3月から5月にかけて枯葉や枯草が多くなることに加え、空気の乾燥や季節風あるいはフェーン現象などの気象条件等も重なり、山火事発生危険性が高まります。林野庁では「火の確認 山を愛する あなたのマナー」を統一標語とした「令和5年全国山火事予防運動」を展開し、山火事予防意識の啓発を図っています。

当署が位置する宮古地域は、昭和36年に「三陸フェーン火災」という大規模な山火事が起きた地域であることから、より一層の注意が必要な地域です。こうした過去の教訓から、地域の貴重な森林を守るために、地域の機関が一体となり、山火事防止に取り組んでいます。

当署では、地域の山火事防止協議会への参画、山火事防止パレードへの参加、庁舎・国有林内への山火事防止横断幕の設置等の啓発宣伝活動、万が一に備えた職員による消火訓練を大きな柱としています。



職員による消火訓練

山火事はいったん発生するとその消火は容易ではなく、一瞬にして貴重な森林を焼失するとともに、その回復には長い年月と多くの労力を要することになります。かけがえない貴重な森林を守るために、皆様のご協力をお願いします。

大津波を耐え抜いたクロマツへの脅威

宮城北部森林管理署

平成23年3月11日の東日本大震災で発生した津波は、宮城県の沿岸を襲いました。当署が管理している石巻市渡波浜曾根山わたのはまそねやまのクロマツの海岸林においても津波が襲来し、多くのクロマツが被害を受けました。幸いにも、全滅することは免れて、1,000本程度のクロマツが生き抜き、現在も海岸林として地域の安全を守っています。

しかし、このクロマツは今、松くい虫被害（マツ材線虫病）の脅威にさらされています。マツノザイセンチュウという体長1mmにも満たない線虫が、マツの樹体内に入り増殖することにより、水の通り道を塞ぎ枯死させます。その線虫をマツからマツへ運ぶ「マツノマダラカミキリ」というカミキリ虫が被害を甚大化させています。

松くい虫被害の対策には、薬剤散布による防除、被害木を伐倒し、薬剤によるくん蒸処理もしくは破碎・焼却をする駆除、健全なマツの樹体内で線虫の増殖を防ぐため樹幹注入剤を使用する方法があります。クロマツ海岸林の生き残ったマツに樹幹注入剤を使用し、松くい虫被害防止に努めています。

東日本大震災を耐え抜いたクロマツの海岸林、そのたくましい生命力を感じに鎮魂と復興への願いとともにぜひ行ってみたいはいかがでしょうか。



津波を耐え抜いたクロマツ林

林業体験～先人が残した庄内海岸林に触れる～

庄内森林管理署

日本海側の南北に広がる庄内海岸は昔、海からの強風で飛んでくる砂に住民が悩まされてきた地域でした。その砂や強風を防ぐ役割を担っているのがクロマツの海岸防災林です。

先人たちが長い年月をかけて整備してきたクロマツ林は酒田市街地にも隣接しており、その周辺を自然観察休養林「万里の松原」として散策や自然体験、学習の場所として整備されています。

万里の松原に隣接している酒田市の西荒瀬保育園と当署は、万里の松原内の森林を「しんちゃん森」として協定を結んでいます。保育園では、遊び場や飛んでくる鳥を観察するなど日常的に自然とふれあう場として利用しています。

また、海岸防災林の成り立ちを学ぶ場として毎年林業体験も行い、令和4年度は4月と6月の2回下刈体験を実施しました。作業終了後には林内に落ちているものや葉っぱなどで万華鏡作りをして、自然にあるもので遊ぶ楽しさを感じていただきました。



親子で一緒に下刈

これからも子供たちが自然とふれあう手助けをし、自然を大切に作る心を育み、先人たちから受け継いだ庄内海岸林を子供たちへと託していきます。

経験と技術で天然資源を未来へ

下北森林管理署

当署管内には、青森ヒバの天然林施業※を適切に進めるため、昭和6年に大畑ヒバ施業実験林が設定されています。

実験林においては約222haの森林を20の林班（ブロック）に細分化し、毎年2つの林班に生育している森林を調査のうえ、生長量に見合う量を伐採（抜き伐り）し10年で一巡するサイクルで施業（伐採等）を行いながら実験林の推移を見守っています。

蓄積※や生長量を確認するためには、1つの林班に生育している胸高直径（地表から約1.2mの高さの直径）6cm以上の立木をすべて調査する必要があります。これは大変な作業となりますが、正確な蓄積や生長量を求めるためにはとても重要な作業となり、



調査の様子

この調査を基に伐採する数量を決定します。

また、伐採木の選定にあたっては、残る木がきちんと生長するように光の入り方や風向きを考慮のうえ、10年後、その先の森林の姿を想像しながら選木しています。

実験林の設定から91年が経過し、施業も9巡目に入りました。当署では、これまでの成果や技術を継承しながら人材の育成にも取り組み、天然資源を未来へ引き継いでいきたいと考えています。

※森林を構成する植物群の構造と移り変わりの状態を考察し、なるべく自然の推移状態に任せながら、人手を加えて経営目的に沿うようきめ細やかな施業を行うこと

※森林を構成する樹木の幹の体積のこと

順調に成長中

岩手南部森林管理署遠野支署

当支署は造林事業を実施するにあたり、植付や下刈作業においてコストを低減させる様々な取組を実施してきました。しかしながら、ニホンジカが苗木を食べる被害が発生していることから、令和4年度から「単木防除」を実施することとしました。

単木防除では、苗木1本1本を個別にチューブで包み、苗木を外敵から保護します。チューブが強い光や強風を和らげるため、植栽木の根付きがよくなることに加え、葉からの蒸散を抑える事で生長を助けてくれます。通気性が良いことから中の苗木が蒸れることはありません。また、苗木を個別に包むため、生長を阻害する下草と競合しない状態になり、苗木の初期生長が促進され、下刈の省略が可能になり、コストの低減になるのではないかと期待されています。



チューブで苗木を保護

単木防除は、シカ被害対策として西日本などでは有効活用されていますが、東北では数年前から導入された比較的新しい方法です。雪の圧力によりチューブが折れ曲がるなど東北ならではの問題が発生することも予想されます。融雪後、チューブの破損や苗木の生育状況を確認しながら、東北での単木防除の適用がシカ被害対策や造林コストの低減に有効かどうか実証に取り組んでいきます。

ボトルネックを克服して生産性向上

秋田森林管理署湯沢支署

世界情勢が物流に大きな影響を及ぼすことを肌身を感じる昨今ですが、林野庁は、国産材の自給率を向上させるなど、木材を安定的に供給できる体制づくりに務めています。

急傾斜地での作業や林業従事者の減少など、林業を取り巻く状況は厳しいものがありますが、木材の安定的な供給をはかるための一方策として、木材の生産作業をより効率的なものとする作業工程の改善が求められています。

当支署では、木材生産における生産性の向上を図るべく請負事業者と一体となり、計画段階で目標を設定し、折りをみてこれまでの作業工程を振り返り、ボトルネックを探り、対応策を講じることで生産性を向上させることに努めてきました。

とはいえ、林業の現場はどこも同じ条件とはならず、異なる現場においては、これまで取り組んできたやり方では生産性は向上しないこともあります。そのような時は、改めてボトルネックを探り、課題を克服していくことを繰り返すことで、さらなる生産性向上に繋げています。



事業者と一緒にボトルネックと対応策を探る

このような過程を基に国有林内の事業で得た生産性向上のノウハウを、民有林の事業でも生かしていただき、林業界全体の生産能力の底上げ、ひいては、木材の安定供給体制の確立にむけた業務に取り組んでいきたいと考えています。

国有林野所在市町村の魅力紹介

青森県三戸郡三戸町

三八上北森林管理署

三戸町は、青森県南部に位置し、南は岩手県、西は秋田県との県境に位置しています。町の中央を国道4号、国道104号が交差するほか、青い森鉄道も町内を縦断しており、三戸地方の交通の要となっております。

三戸城跡城山公園は、桜の名所・町民の憩いの場としても愛されており、公園内にある「三戸城跡」は、令和4年3月に国史跡指定されました。戦国時代に北奥羽一帯を治めた三戸南部家の拠城となっており、そのため城下町として栄えた古い歴史を有する町でもあります。



国史跡指定された「三戸城跡」

平成29年4月に県内で最初の併設型小中一貫三戸学園を開校し、町独自のカリキュラムで心豊かでたくましい児童生徒を育てており、1年生から



小中一貫校三戸学園の全校集会

の英語教育や5年生からは教員の専門性を活かした技能教科（音楽、図工、家庭科、体育）を中心に、中学校教員の乗り入れ授業を行っております。

町出身で漫画家の故馬場のぼる氏の代表作である「11ぴきのねこ」によるまちづくりを進めており、石像の設置をはじめ、町のいたるところに「11ぴきのねこ」があり、全国から多くのファンが来町しております。



11ぴきのねこの石像

町の東側にある名久井岳のふもとでは、寒暖差が大きく果樹栽培に適しているため、リンゴ、サクランボ、モモなどのさまざまな果物が収穫されます。また、かつては「やませ」という偏東風の影響で水稻栽培が困難であったことから、麦やそばといった「粉もの」の食文化が発達しました。

「くしもち」、「せんべい汁」、「ひつつみ」、「つつけ」などが代表的です。「道の駅さんのへ」、「SAN・SUN産直ひろば」などで味わってみてはいかがでしょうか。



三戸名物「くしもち」

お問合せ先：三戸町まちづくり推進課 Tel.0179-20-1117

国有林野所在市町村の魅力紹介

秋田県男鹿市

米代西部森林管理署

男鹿市は秋田県臨海部のほぼ中央、日本海に突き出た男鹿半島の大部分を占めています。青い海と緑の山々、そして深淵な湖と変化に富んだ美しい自然景観は男鹿国定公園の指定を受けています。

男鹿といえば「なまはげ」。「泣ぐ子はいねが〜」と鬼の面と藁で作った衣装をまとい、家々を回り厄払いをする、この民俗行事は、国の重要無形民俗文化財で、ユネスコ無形文化遺産にも登録されています。「なまはげ館」では、男鹿市内のなまはげが勢ぞろいしており圧巻の迫力です。隣接する男鹿真山伝承館では、大晦日に行うなまはげ行事の再現を体験することができます。



なまはげが勢ぞろいする「なまはげ館」

入道崎は男鹿半島の最北端に位置し、緑の大地、青い空、そして広大な日本海を望むことができます。一角には「日本の灯台50選」に選ばれている



灯台がある入道崎

「入道崎灯台」があり、灯台には登ることもできます。入道崎は北緯40度線上にあることから、それを印した安山岩のモニュメントが配置されており、他にも名物「石焼料理」が味わえる飲食・土産店があります。

寒風山は標高355mの火山で、360度の大パノラマを楽しむことができます。頂上には回転展望台があり、一回転13分で絶景を満喫できます。大半が芝生で覆われており、毎年4月に山焼きを行ってその姿を保全しています。芝生山の寒風山はパラグライダーのメッカでもあります。パラグライダースクールもあり、誰でも気軽に空中散歩を体験できます。



寒風山の回転展望台

鵜ノ崎海岸は「日本の渚100選」に選ばれている美しい海岸です。沖合まで浅瀬のため、干潮時には200mほど沖まで歩くことができます。また、円球状の「小豆岩」をみることもできます。穏やかな天気の日には海面が鏡のように風景を映し出すことから「秋田のウユニ塩湖」と呼ばれています。



浅瀬が続く鵜ノ崎海岸

お問合せ先：男鹿市観光協会 Tel.0185-24-4700

令和4年度森林・林業技術 交流発表会の開催(その2)

技術普及課

【中学・高等学校の部】～優秀賞～

『F S C 認証林の効率的な管理方法及び
認証材の有効活用』

青森県立五所川原農林高等学校
成田さん、濱山さん、福岡さん

高校生によって世界で初めてF S Cの森林認証を取得し、認証材を東京2020オリンピック・パラリンピックのビレッジプラザへ提供もされました。更なる活用促進に向けた商品開発において、デザインや価格、ニーズ把握などマーケティング戦略を実施した取組や、認証林管理の効率化に向けたドローン活用の取組が発表され、全国の認証林所有者に大変参考になる事例であると高い評価を得ました。



中学・高等学校の部優秀賞
左から成田さん、濱山さん、福岡さん

～日本森林技術協会理事長賞～

『大沢治山工事におけるICT施工(土工)の
試行について』

盛岡森林管理署 宇都さん、高橋さん

地上型レーザーキャナや、マシンガイダンスバックホーなどのICTを導入した治山事業について、生産性と安全性が向上する一方、導入費用と技術者育成に課題があることを示した発表であり、今後、調査事例を増やすことで、明らかになった課題の解決が見込めると高い評価を得ました。



日本森林技術協会理事長賞 宇都さん

～日本森林林業振興会会長賞～

『大石田町の中学生を対象とした林業への
理解促進に関する取組』

山形県立農林大学校 星川さん

林業への関心の薄い地域において、将来を担う地元中学生に対し、林業の担い手として期待される研修生が、森林環境学習を通じた、森林・林業への理解促進と就業促進に取り組んだ発表であり、学習内容の要望把握に基づく講義内容の検討から、中学生への講義、実施後のアンケート調査による理解度の把握、次回活動への反映等、森林環境教育の好事例であると高い評価を得ました。



日本森林林業振興会会長賞 星川さん

～東北森林管理局林政記者クラブ賞～

『高齢級国有林高品質材「㊦㊦前森スギ」の
供給について』

山形森林管理署最上支署 伊藤さん、小野寺さん

80年生を超える良質な高齢級スギ一般材に付加価値を付けて販売する取組で、素材生産業者、製材業者、流通業者、市場関係者、購入者、地元市町村から意見聴取し、採材方法や地域ブランド化のため検討を行った結果、通常の販売方法より高く販売されたとの報告があり、付加価値の検討と併せて木材の安定供給を考察している点において、審査員から高い評価を得ました。



東北森林管理局林政記者クラブ賞
左から伊藤さん、小野寺さん

最後に國崎審査委員長より、「今年度は3年ぶりに、審査員や聴講者の前で、発表いただくことができ、表情・抑揚が生き生きと感じられる発表会となった。」との感想をいただき、2日間の発表を終了しました。

使える!

行政情報&研究・技術の参考情報

森林環境譲与税の活用促進について

森林環境譲与税は、森林の有する公益的機能を維持増進することの重要性から、市町村や都道府県が実施する「森林の整備及びその促進に関する費用」に充てるため創設され、本年で5年目を迎えます。

森林環境譲与税の配分は、譲与総額を私有林人工林面積（5割）、林業就業者数（2割）、人口（3割）により按分し、各市町村と都道府県に譲与されており、各市町村の判断により、間伐や再造林等の森林整備、林道の整備、担い手となる新規就業者への支援、木材利用の促進や普及啓発等、幅広い事業に活用できます。

林野庁と総務省は、令和4年6月に、市町村が税を活用する参考となるよう「森林環境譲与税を活用して実施可能な市町村の取組の例」（ポジティブリスト）を公表しました。

森林環境譲与税の取組状況は、主な取組である森林整備の実績が、令和3年度には令和元年度の約5倍の約30.8千haになるなど、森林を持続的に活かしていく取組が着実に進展しています。

なお、森林環境譲与税の用途は、各市町村等がホームページ等で公表しているほか、林野庁でも取組事例集を公表しています。様々な事例を参考に、森林環境譲与税を有効活用していただくことが、カーボンニュートラルの実現や国土強靱化にもつながります。



林野庁のホームページでは、取組事例集を公表しているほか、森林環境譲与税等のPRパンフレットもご覧になれます。

←森林環境譲与税等のPRパンフレット



林野庁

ご関心のある方は、お気軽に最寄りの森林管理署等（裏表紙参照）へお問合せ下さい。

害虫調査に活躍する羽化トラップ

さまざまな生き物が住む森林では、ときおり大規模な食葉被害が発生します。そんなとき、どんな種類の虫が被害をひきおこしているのか、そして、その数が今後増えていくのかどうか大きな関心事となります。

高い木の上にいる虫を調べるのは容易ではありません。しかし、こうした虫の多くは、木の上で葉を食べ終えたあと、土の中に潜り込み生涯の大半を眠って過ごしています。そして、暖かな季節が到来すると、成虫となって、再び木の上へと戻っていきます。このタイミングを狙えば、地上での調査が可能となります。

しかし、いつ出てくるとも知れない虫をじっと待っている訳にもいきません。そこで登場するのが羽化トラップです。このトラップは、ピラミッド型をした小型のテントで、これを、被害地の林床に設置しておく、土中から出てきた虫は、テントの内側をつたって上へ上へと登っていき、頂部の容器で捕獲されます。容器の中には防腐液が入っており、虫はここで溺死し、そのまま保存されます。

これまでにいろいろな羽化トラップが考案されていますが、森林総合研究所は、これまでになかった、軽量でコンパクトに収納できるタイプの



羽化トラップ

トラップを開発して森林害虫の調査に活用しています。作り方を含むマニュアルを以下に公開していますので、どうぞご利用ください。

http://www.ffpri.affrc.go.jp/thk/research/org/documents/soil_insect.pdf



ご関心のある方は、森林総合研究所東北支所（TEL:019-641-2150）へお問合せ下さい。

地域のこの人

地域に信頼される人材を目指して

秋田県森林組合連合会
秋田中央森林組合 貴志 風花さん

当組合は秋田県の中央部に位置する秋田市を管内としています。秋田市は、東には市内から一望できる太平山、西には夕日の映える日本海が広がり、自然に囲まれた環境でありながら、県内経済の中心都市として活気もあります。

私は秋田市の出身で、地域の豊富な森林資源を未来に引き継ぎたいとの思いから、林業に興味を持ち、平成29年から秋田林業大学校で実践的な林業研修を受け、平成31年に当組合に入組して4年目となります。

現在、私が担当する業務は主に測量や伐採作業の準備です。森林組合は森林所有者の皆さんの要望に幅広く応える組織であり、職員も高度な技術と知識を求められ、大変な面もありますが、やり遂げたときの達成感と森林所有者の方からの感謝の言葉に支えられています。

また、森林組合の活動は国土保全や脱炭素社会の実現に向けた取組等、地球の温暖化対策にも密接に関わりがあることから、自分の仕事が地域や社会に貢献していることを実感でき、自分自身に誇りが持てる職場です。

これからも魅力あふれる森林組合での仕事を頑張っていきます。そして一緒に働く女性が増えることを楽しみにしています。



搬出した丸太の検収

民国連携した取組の強化を！

置賜森林管理署 舟渡・玉川森林事務所
首席森林官 川上 匠さん

当事務所は、山形県南部西置賜地域の小国町にあり、約34,000ha（東京都23区の約半分の大きさ）の国有林を管理しています。

北に朝日連峰、南に飯豊連峰の山々が連なり、雄大な自然を求めて、毎年多くの登山者が訪れます。また、自然の恵みが豊かな小国には今でもマタギ文化の伝統が残っていて、クマ祭り（祈願祭）が行われています。

クマとの関わりが残るこの地域での最近の課題は、クマがスギの木のを皮をはがしてしまうことです。皮をはがされた木は少しずつ腐朽して枯れ、倒木してしまいます。クマが木の皮をはがさないように、国有林内のスギの木を一本一本根元から白いテープで巻くことで、かなりの被害対策効果が出ています。民有林でも被害が見られるため、地域の林業関係者や自治体職員などにクマによる皮はぎ被害防止対策についてアドバイスするなど民国連携した取組をしています。



クマからの被害防止のテープを巻いたスギ林

森林官は、国有林の管理にとどまらず、このような地域特有の課題にも取り組みながら、先人が^{もり}守り育ててきた森林を地域の方々とも連携し、どのようにすれば健全な姿を保っていけるのか、日々考えています。民有林と連携したスケールの大きな仕事をしてみませんか。



被害調査をしている筆者

※川上匠さんの所属部署及び役職は3月現在。

4月中旬

おおがわら桜まつり

4月6日(木)～4月19日(水)
白石川沿いの8kmを彩る桜のトンネルを散策
(宮城県/大河原町商工観光課)

野鳥の森ハイキング

4月9日(日)、4月16日(日)
野鳥、花々や草木を楽しみながら野鳥の森を歩きます
(宮城県/蔵王野鳥の森自然観察センター)

2023月山スキー場開き

4月10日(月)
4月から7月まで滑走可能な月山スキー場がオープン
(山形県/西川町商工観光課)

鼠ヶ関の神輿流し

4月15日(土)
若者たちが神輿を担いで威勢良く川に入り水を掛け合う勇壮な祭り
(山形県/鶴岡市)

楯山公園桜まつり

4月15日(土)～4月16日(日)
庄内平野を一望できる桜の名所、ぼんぼりでのライトアップもある
(山形県/庄内町)

2023あおもり桜マラソン

4月16日(日)
福士加代子がゲストで参戦！青森の街をみんなで走ろう！
(青森県/青森市)

白神十二湖山開き安全祈願祭

4月19日(水)
「青池」に代表される十二湖の新緑を楽しむことができます
(青森県/深浦町観光課)

大館桜まつり(桂城公園)

4月13日(木)～4月30日(日)
夜はライトアップされた夜桜を楽しむこともできます
(秋田県/大館市観光協会)

4月下旬

十和田市春まつり

4月20日(木)～5月5日(金)
日本の道・100選の「駒街道」沿い1kmに渡り桜が咲き誇ります
(青森県/十和田市)

蔵王連峰夏山開きと蔵王エコーライン開通式

4月21日(金)
雪壁の高さが10mに達する雪の回廊を体感できます
(山形県/上山市観光・ブランド推進課)

黒石さくらまつり

4月21日(金)～4月30日(日)
東公園さくら山は市の高台にあり市内随一の桜の名所です
(青森県/(一社)黒石観光協会)

あじがさわウォーク(春)

4月23日(日)
春の大高山総合公園の桜を見ながら散策します
(青森県/鱒ヶ沢町)

八幡平松館の湯立て

4月25日(火)
湯立ての神事として作占いの儀や湯浴みの儀が見所
(秋田県/鹿角市)

第40回全国都市緑化仙台フェア

4月26日(水)～6月18日(日)
国内最大級の花とみどりの祭典が、杜の都仙台で開催
(宮城県/第40回全国都市緑化仙台フェア実行委員会)

米沢上杉まつり

4月29日(土)～5月3日(水)
上杉、武田軍が入り乱れる川中島合戦シーンは、一見の価値あり！
(山形県・米沢四季のまつり委員会)

日本国花苑さくらまつり

4月22日(土)～5月7日(日)
日本各地から集められた桜200種約2000本が観賞できます
(秋田県/井川町)

5月上旬

春の藤原まつり

5月1日(月)～5月5日(金)
奥州藤原氏をしのぶまつり、「源義経公東下り行列」が名物です
(岩手県/(一社)平泉観光協会)

白石市民春まつり

5月3日(水)
白石市内商店街を神輿渡卸甲冑行列などが練り歩く
(宮城県/白石市民春まつり協議会)

第50回梅まつり、第33回梅の里マラソン大会

5月3日(水)
物産市とマラソン大会の同時開催です
(山形県/真室川町観光物産協会)

森と水とチューリップフェスティバル

5月3日(水)～5月4日(木)
30品種15万本もの色とりどりのチューリップが咲き誇ります
(岩手県/軽米町観光協会)

第65回全日本こけしコンクール

5月3日(水)～5月5日(金)
全日本こけしコンクールと地場産品まつりが同時開催
(宮城県/全日本こけしコンクール事務局)

全国泣き相撲大会

5月4日(木)～5月5日(金)
健やかな成長を願って泣いて笑って勝負あり
(岩手県/毘沙門まつり実行委員会)

能代公園春まつり(つつじ)

5月5日(金)～5月31日(水)
14種類、約3,400株のつつじが咲き誇ります
(秋田県/能代市)

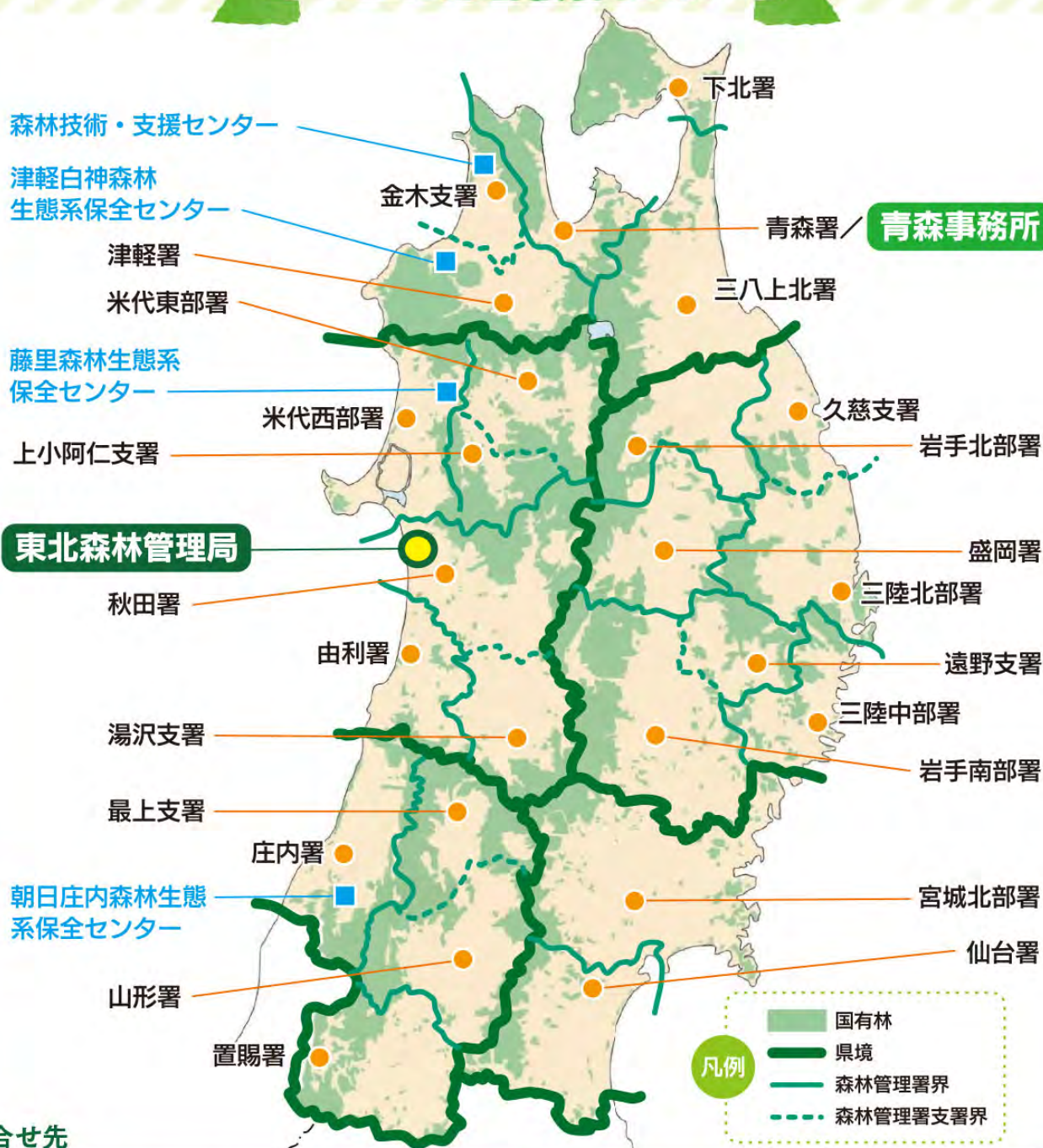
きみまち阪つつじまつり

5月6日(土)～5月31日(水)
赤やピンク、白など2,500株のつつじがさまざまに咲き誇ります
(秋田県/能代市)

※掲載内容は、新型コロナウイルス感染状況や天候等により変更となることがありますので、主催者等にご確認下さい。
また、紙面の都合等で掲載できなかったイベントもありますので、ご了承下さい。

東北森林管理局マップ

広報誌「みどりの東北」スマートフォン対応版はこちら↓



お問合せ先

青森県	青森事務所	青森市篠田三丁目22-16	☎017-781-2117	宮城県	宮城北部署	大崎市古川東町5-32	☎0229-22-2074
	津軽署	弘前市大字豊田二丁目2-4	☎0172-27-2800		仙台署	仙台市青葉区東照宮一丁目15-1	☎022-273-1111
	金木支署	五所川原市金木町芦野200-498	☎0173-53-3115		米代東部署	大館市上代野字中岱3-23	☎0186-50-6130
	青森署	青森市篠田三丁目22-16	☎017-781-0131		上小阿仁支署	北秋田郡上小阿仁村沖田面字野中376-13	☎0186-77-2422
	下北署	むつ市金曲一丁目4-6	☎0175-22-1131		米代西部署	能代市御指南町3-45	☎0185-54-5511
	三八上北署	十和田市西二番町1-27	☎0176-23-3551		秋田署	秋田市河辺和田字和田156-3	☎018-882-2311
岩手県	津軽白神センター	西津軽郡釜ヶ沢町大字舞戸町字東阿部野70-82	☎0173-72-2931	湯沢支署	湯沢市田町二丁目6-38	☎0183-73-2164	
	森林技術・支援センター	北津軽郡中泊町大字中里亀山540-8	☎0173-57-9022	由利署	由利本荘市水林439	☎0184-22-1076	
	岩手北部署	八幡平市荒屋新町41-8	☎0195-72-2221	藤里センター	山本郡藤里町藤琴字大関添24-3	☎0185-79-1003	
	三陸北部署	宮古市磯鶏石崎4-6	☎0193-62-6448	庄内署	鶴岡市末広町23-37	☎0235-22-3331	
	久慈支署	久慈市夏井町大崎14-12	☎0194-53-3391	山形署	寒河江市元町一丁目17-2	☎0237-86-3161	
	三陸中部署	大船渡市盛町字津野沢7-5	☎0192-26-2161	最上支署	最上郡真室川町大字新町字下荒川200-11	☎0233-62-2122	
山形県	盛岡署	盛岡市北山二丁目2-40	☎019-663-8001	置賜署	西置賜郡小国町大字岩井沢581-45	☎0238-62-2246	
	岩手南部署	奥州市水沢東上野町12-17	☎0197-24-2131	朝日庄内センター	鶴岡市下名川字落合3	☎0235-58-1730	
	遠野支署	遠野市東館町7-39	☎0198-62-2670				

東北森林管理局 〒010-8550 秋田県秋田市中通 5-9-16 ☎018-836-2014



No.229

●発行日/令和5年4月 ●発行/東北森林管理局

●東北森林管理局ホームページもぜひご覧ください
<https://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/>



本誌に使われている紙は、日本の森林を育てるために間伐材を積極的に使用しています。